

提出された意見の要旨及び区の考え方

番号	意見の要旨	区の考え方
1	無形文化遺産の観光資源としての位置付けを明確にして欲しい。	本プランが捉える観光資源には、文化芸術やまつりなどの無形のソフト資源も含まれておりますが、その位置付けをより明確にするため、第4章/戦略2の記載において、無形文化遺産の意味につながる「歴史」を追記いたします。
2	民泊、ホテルを観光情報の有力な発信拠点の一つとすべきである。	第4章/戦略1-1、第5章/大田区観光振興の推進イメージで示すとおり、宿泊施設について、連携すべき重要な関係者と捉えております。今後、宿泊施設とは情報発信を含め、さらなる連携・協働を進めてまいります。
3	大田区は観光資源となりうるものが多々ある。それぞれを推進する組織もある。これらを結集し総合力にするのが区の役割と考えるがいかがか。	第5章/1で示すとおり、様々な組織の力を結集することが大田区観光の推進につながると捉えております。その中心を担う一つが大田区であります。その役割付けについて、第5章/大田区観光振興の推進イメージの中央に大田区を配置することで、より明確にいたします。
4	観光ルート案内に位置情報、音声説明等を組み入れる等、ITのより積極的活用が必要である。また、日本工学院専門学校との連携も必要である。	第4章/1及び4で示すとおり、今後、区ではデジタルサイネージ、SNS等のITを含め、時代に即した様々な媒体を活用した受入環境整備と観光プロモーションを進めてまいります。 また、第4章/戦略2-2、第5章/大田区観光振興の推進イメージで示すとおり、取組においては、多様な主体との連携が必要と捉えております。今後、日本工学院専門学校を含め、様々な関係者とは、さらなる連携・協働を進めてまいります。
5	新産業（地ビール、地菓子等）の創生まで見据えたプランであって欲しい。	第4章/2及び4で示すとおり、ものづくり産業などについて、区では貴重な観光資源と捉えております。また、第5章/大田区観光振興の推進イメージで示すとおり、同産業との連携も重要と捉えております。今後、新産業の魅力の育成や発信などにつながる観光分野の取組について、検討してまいります。
6	大田区の文化遺産の継承において、区内に文科系大学がないことに不利を感じる。また、MICEを推進するのであれば、国際大学又は分校の誘致を考えてはいかがか。	第4章/戦略2-2などで示すとおり、大田区観光の振興において、多様な主体との連携が必要と捉えております。まずは、区内の大学、専門学校などの教育機関と、MICEの取組などにおいて、連携・協働を進め、今後のさらなる取組につなげてまいります。